

公共事業事前評価調書(平成27年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 海岸班

事業名	伊佐海岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業		事業区分	海岸事業	事業主体	沖縄県	
事業箇所	宜野湾市伊佐地先						
事業の諸元	事業延長: 270m 工法: 混成型堤防						
事業の概要	<p>当該海岸は沖縄本島中部宜野湾市に位置し、東シナ海に面している。当海岸背後には主要道路である国道58号バイパスが走っており、その周辺は市街化が進み民家及び公共施設が密集している。</p> <p>現状の海岸保全施設は、復帰前後(琉球政府時代)に築造された傾斜式堤防およびその前面に消波堤が整備されている。海岸堤防は築造後40年余を経過しており、老朽化によるコンクリートのひび割れ等の劣化が顕著にみられる。</p> <p>堤防の防護機能の低下が進み、高潮時等には背後地の浸水被害が想定されることから、海岸堤防等老朽化対策緊急事業により海岸保全施設の強化・回復を図り、背後地の人命・財産を防護する。</p>						
事業の必要性・効果等	<p>【必要性】</p> <p>本県には、復帰前(琉球政府時代)に築造された、除塩を施していない骨材を使用したコンクリート護岸等が数多く残っており、胸壁等の老朽化や鉄筋の腐食による防護機能の低下が顕著である。</p> <p>H23年度から実施している老朽化点検結果より、老朽化の進行状況や、背後地に公共施設(公民館、診療所等)、国道58号バイパス、ライフラインであるし尿処理場等の重要施設が集中している状況から、当該海岸は特に整備優先度の高い海岸となっている。</p> <p>【効果】</p> <p>老朽化により防護機能が低下する恐れのある海岸保全施設を改修することにより防護機能が確保され、荒天時の高潮・波浪等から県民の生命・財産が守られる。</p>						
事業期間	事業採択	平成 27 年度		完了(予定)	平成 31 年度		
全体事業費	3. 1	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10	
費用対効果	B/C	総便益: B	87. 3	(億円)	総費用: C	2. 8	(億円)
	=	① 高潮防護便益87. 3億円		① 事業費 2. 6億円		基準年 平成 26年度	
	31	②		② 維持管理費 0. 2億円			
		③		③			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>・21世紀ビジョン実施計画の施策展開「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」に位置づけられている。</p> <p>・沖縄県水防計画「重要水防区域内で危険と予想される区域(海岸)」に位置づけている。</p>						
環境への配慮	陸域にある既設護岸の改良・更新のため、海岸環境への影響が少ない施設整備を実施する。						
関係する地方公共団体等の意見	特になし						
概要図(位置図)	<p>The figure consists of two parts. On the left is a map of Okinawa Prefecture with a red dot indicating the location of Iza Coast (伊佐海岸). On the right is an aerial photograph of the project site in Iza, Eniwake City. A red line indicates the 270m extension of the seawall (事業延長L=270m). Key landmarks are labeled: Iza Bay Purification Center (宜野湾浄化センター), Iza Beach Clinic (伊佐浜診療所), Iza Community Center (伊佐公民館), and Sewage Treatment Plant (し尿処理場). National Route 58 (国道58号) is also visible.</p>						